

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・自社が排出する廃棄物については、業者に依頼することで適切な廃棄を行っている。 ・【予定】2026年7月までに業務で使用する乾電池を充電式乾電池に変更する。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】2026年7月までに、二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」にて自社の二酸化炭素排出量を把握し、現状に応じた削減目標を設定し、削減に向けた取り組みを行う。 ・事務所に太陽光パネルを設置や照明をLED照明にすることでエネルギー効率向上に取り組んでいる。 ・社用車にEV車を導入し、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・二酸化炭素排出量算定システム「炭削くん」を用いて、自社の二酸化炭素使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・社用車にEV車を導入し、自社が排出する温室効果ガス排出の削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・自社活動が環境に悪影響を及ぼさないための配慮として、安全大会における清掃活動等に積極的に取り組んでいる。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内においては積極的に裏紙を利用し、効率的な資源利用に取り組んでいる。 ・交通警備に用いる看板枠を再利用し、別の現場でも使用できるようにするなど、本業を通じてリユースに取り組んでいる。 ・各種備品等のメンテナンスを行うことで、企業として3Rに積極的に取り組んでいる。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水について定例会議で社内周知を行うことで、熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・社内で使用する事務用品は、環境に配慮した製品の購入を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所周辺において植栽を行い、緑の創出と保全に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・事務所に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを積極的に利用している。 ・事務所内の電球はLEDを使用し、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 “伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・社内において夏場に製氷機を準備する等の取り組みを通じて社員のマイボトル利用を促進し、ペットボトル購入・使用の削減に貢献している。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車にEV車を導入し、環境に配慮した自動車の使用を企業として促進している。 ・現場に向かう際は、乗り合わせでの訪問を徹底しており、環境に配慮した移動手段を推進している。										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

